



中央小だより



↑カラー写真はHPで

みんなの 中央小
みんなで 中央小

令和4年12月9日
第62号 文責:校長

冬が来た

高村 光太郎

きつぱりと冬が来た

八ツ手の白い花も消え

公孫樹の木も箒になった

きりきりともみ込むような冬が来た

人にいやがられる冬

草木に背かれ、虫類に逃げられる冬が来た

冬よ

僕に來い、僕に來い

僕は冬の力、冬は僕の餌食だ

しみ透れ、つきぬけ

火事を出せ、雪で埋めろ

刃物のような冬が来た

残暑厳しい中で始まった二学期。

高学年は三年ぶり

低学年は入学後初めての水泳指導。

中央小まつりに修学旅行

こちらも三年ぶりの四泊五日の自然学校

大型バスで環境体験学習

お弁当を持って校外活動や社会見学

福祉学習や参観授業

練習も当日もがんばりぬいたマラソン大会

たくさんの方の行事で思い出を作り

しっかりと食べてしっかりと寝て

遊びや勉強運動もがんばって

心も体も大きくなったみんなの二学期。

学校に来る日はあと十日となりました。

いつもみんなを支えてくださっている

家族や地域みなさんに感謝！

強い気持ちでがんばりましょう。

厳しい北風に負けるもんか！

◆ 学期末・学期始めの 下校時刻等は 以下の 通りです

12/20 (火)	給食終了	通常通り下校
21 (水)	短縮授業	11:45 下校
22 (木)	短縮授業	11:45 下校
23 (金)	2学期終業式	11:00 一斉下校です
1/10 (火)	3学期始業式	11:00 一斉下校です
11 (水)	短縮授業	11:45 給食は ありません
12 (木)	給食開始	この日から 通常通りの 下校です

◆ 今後の 主な 行事に ついて (12/9時点)

～ 状況を踏まえ 変更もあります 行事が近づけば 改めてお知らせします ～

↓ **新しく追加**

2/10 (金) 学校参観日 (体育館)

- 学習の成果を学年ごとに発表します
- 1～3年は2校時、4～6年は3校時の分散型参観
- 各家庭一名の参観とします (各校時 卒業式なみの人数での参観)
- 十分な間隔をとって椅子を配置します
- 詳細は年明けにお知らせします

- 2月中旬 なわとび大会
 - 参観は ありません (以前のお知らせから変更しました)
- 3月上旬 地区懇談会
 - 日程が確定しましたらお知らせします
- 3/23 (木) 卒業式
- 3/24 (金) 令和4年度 修了式

満点取れるかも? 「冬が来た」テスト

問一 「僕は冬のカ、冬は僕の餌食だ」とありますが、これは「僕」のどんな気持ちを表していますか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「僕は冬のカの大きさを知っている、冬と闘って減びても仕方ない」という気持ち
- イ 「僕は冬のカになりたい、冬の餌食になってもかまわない」という気持ち
- ウ 「僕は冬からカを得るのだ、冬と対決することによって成長したい」という気持ち

問二 この詩には、どのような思いが表現されていますか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 冬のような厳しく苦しい環境を歓迎し、厳しさに期待して挑戦する思い
- イ 冬の厳しい環境の中にある美しい自然に目を向け、それらを称える思い
- ウ 冬の厳しく劣悪な環境を描き、そこから何とかして逃れたいという思い

問三 隠喩(暗喩)が使われているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 公孫樹の木も箒になった
- イ きりきりともみ込むような冬が来た
- ウ 刃物のような冬が来た

さあ 答え合わせ!

- 問一 ウ 問二 ア
- 問三 ア

冬という厳しい季節を乗り越えて成長していくんだという強い意志、決意が感じられますね。比喩表現(たとえ)には直喩(明喩)と隠喩(暗喩)の二種類があります。「～のような」「みたいに」などの言葉を使って 直接たとえる表現を 直喩、「ような」などを使わずに たとえる表現(「ような」が隠れていると 覚えるといいよ!)が 隠喩 です。→ 公孫樹の木も箒(のように)になった

問題はNHK高校講座ライブラリー「国語総合」から引用し加筆・編集しました。